

関係会社との一体感を持った連結経営を目指す三井物産の関係会社の会である「三栄会」。その最新の活動状況を紹介するシリーズです。その第4回として、このたび開催された第1回経営懇談会についてご紹介します。

お問い合わせ先：事業管理部企画室 東京三栄会事務局 ☎7569  
eメールアドレス：SaneikaiTKAOI@mitsui.com  
東京三栄会ホームページ：http://www.san-eikai.or.jp

# 「いい仕事」を通じて、一体感を目指し 第二回経営懇談会を開催

直接対話を通じて  
相互理解を促す

三月十四日、東京三栄会の新しい試みとして、第一回経営懇談会が当社において開催されました。

三栄会の標語「いい仲間 いい仕事 三栄会」の「いい仕事」の面をさらに一歩進めてみようということ、当社から榎田社長が出席、東京三栄会からは三十数名が出席しました。

この企画の趣旨は「創造的企業グループを目指して、一体感のある連結経営へ」という本年度の東京三栄会活動テーマに沿い、三井物産経営幹部と会員各社幹部とが



東京三栄会の会員各社幹部に向けてスピーチする榎田社長

直接懇談するための「場」を提供するといったものです。各社幹部はそれぞれ主意を本部を通じて種々の情報は得ていますが、三井物産経営幹部との一層の相互理解を促すことを期待しています。

懇談会の冒頭、増田東京三栄会会長から「会員会社幹部が産業、業種を越えて三井物産幹部と交流を図り、一層一体感のある連結経営、企業グループとなれるよう、本会を設けてもらった」と会の趣意を発表。続いて、榎田社長からは「三井物産グループの同じ社長業という立場から、三井物産が何を考え何をしているのかをお話することで相互に得るものがあると思つ」との基本的な考えの説明のほか、「連結業績において関係会社は大きく貢献しているし、三井物産の仕事のかなりの部分が関係会社によって行われている」といった点を感謝すると同時に、「会員各社にも企業グループとしての望ましい姿を考えてもらいながら経営に当たっていただきたい」とのスピーチがありました。

「連結経営」を  
テーマに自由討議

その後、「連結経営」という大きな議題での自由討議に移り、各社に共通するテーマについて活発な議論が行われました。その中から主な意見を抜粋して紹介します。  
三井物産グループとしての一体感醸成

「一体感というものをあまり堅く考えることなく、三井物産グループの一員であると緩やかに考えれば、東京三栄会の諸活動を通じての一体感醸成ということも十分可能ではないか。また、その一体感の中からお互いのビジネスチャンスも生まれるし、企業グループとしての望ましい姿も見えてくるのではないか」

人材育成のさらなるバックアップに期待

「会員各社では人材の確保、また確保した人材の教育、成長ということが大きな問題であるが、三井物産が実施する研修や提供される情報は大きい役に役立っている。ま



活発な意見交換が行われました

た、東京三栄会としての研修活動も大変盛んであり、人材の育成については三井物産を含む各社での協力が今後重要である」  
社員のモチベーション向上

「関係会社経営の中で最大の課題は全社員が仕事を通じて大きな満足感を得られるか、仕事をしたというモチベーションがいかに高まるかである。そのためには当たり前のことであるが、各社の経営幹部と現場のコミュニケーションが大変重要である」

\*

第一回経営懇談会は予定の時間を超えて議論が行われました。今後、三井物産の経営幹部に交代で出席願ひ、継続して開催する予定です。またテーマはその時々々の連結経営に必要と思われるものを選び、討議していきます。

(東京三栄会事務局記)